

PFI / PPPセミナー

官民連携のこれまでとこれから

参加者募集

PFI法が施行されて10年が経ち、国内でも多数のPFI事業が実施されていますが、この10年間で経済環境は大きく変化しています。これまでのPFI事業の実績や波及効果、今後の課題など、官民連携のこれまでとこれからについて、様々な立場の方にご講演いただきます。

【主催】 中国経済産業局 PFI/PPP推進協議会 ちゅうごくPFI/PPP推進会議

【日時】 平成22年1月15日（金）13:15～16:30

【場所】 八丁堀シャンテ 3階 梅（広島市中区上八丁堀8-28、TEL:082-223-2111）

【プログラム】

13:15～13:20 中国経済産業局挨拶

13:20～13:25 ちゅうごくPFI/PPP推進会議挨拶 広島国際大学大学院 教授 吉長 成恭 氏
（ちゅうごくPFI/PPP推進会議会長）

13:25～13:30 PFI/PPP推進協議会活動紹介

13:30～14:30 講演1



「民間セクターから見たPFI/PPPのポイント」

（株）合人社計画研究所 常務取締役 奥 隆志 氏

合人社はビル・マンションの総合管理を通して培ってきたノウハウを活かし、様々な分野の公共施設の維持・管理・運営のサービスに取り組んでいます。この合人社の取り組みと、民間セクターがPFI事業の管理・運営に取り組む際の考え方、ポイント、民間事業者の出番、公共事業のあるべき姿、PFI事業の波及効果などについて、株式会社合人社計画研究所の奥氏に講演していただきます。

～ 休 憩 ～

14:40～15:20 講演2

「国内外におけるPPPの動き」

早稲田大学 客員教授 杉田 定大 氏



現在、多くの国でPPPが行財政政策の重要課題となっていますが、このアジアにおけるPPPの動きと日本の対応状況について、アジアPPP推進協議会のアドバイザーでもある杉田氏に解説していただきます。

15:20～16:15 講演3



「PFI/PPPの改善動向と望ましいスキームについて」

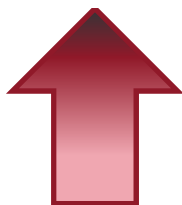
鳥取大学 特任教授 光多 長温 氏

官民連携は、世界の多くの国で行財政改革の大きなテーマとなっており、積極的な取り組みが行われています。日本においてPFI法が施行されて10年になりますが、平成21年3月までに公表された事業は389件（断念した事業を含む）にのぼり、事業費も約3兆円に達しています。政権が自民党から民主党に移り、新しい政策が打ち出されようとしています。官民連携はどのような方向に進むのでしょうか？各国のPPPの動向やわが国の現状を踏まえて、日本のPPPの進むべき方向について、鳥取大学の光多教授に講演していただきます。

16:15～16:30 質疑応答

参加無料
定員80名

★お申込み方法・申込先は、裏面をご覧ください。



中国経済産業局産業部 流通・サービス産業課行き
FAX 082-224-5642
 またはE-mail: cgk-service21@meti.go.jp

PFI/PPPセミナー参加申込書(申込期限:平成22年1月12日(火))			
団体名 会社名			
住所			
TEL		FAX	
E-mail			
所属部署・役職		氏名(ふりがな)	

※ ご記入いただいた個人情報は、本セミナーの運営に必要な場合以外には使用いたしません。

会場へのアクセス

八丁堀シャンテ (広島市中区上八丁堀8-28)

広島駅から徒歩約15分・タクシー約5分
 広島バス：広島駅(広島東郵便局向い21番のりば)
 ～旭町行(女学院前下車 徒歩1分)
 市内電車：紙屋町経由 八丁堀下車 乗り換え
 白島線 「縮景園前」下車



申込方法：上段の参加申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。

E-mailの方は、各項目をご記入の上、送信してください。

申込先：中国経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 (担当：原田・浜本)

TEL:082-224-5655 FAX:082-224-5642

E-mail: cgk-service21@meti.go.jp

PFI(Private Finance Initiative)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。PFIの導入により、国や地方公共団体の事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を目指す。

PPP(Public Private Partnership)

公共サービス分野での官民パートナーシップ(協働)による公共サービスの民間開放。PFIはPPPに含まれる。